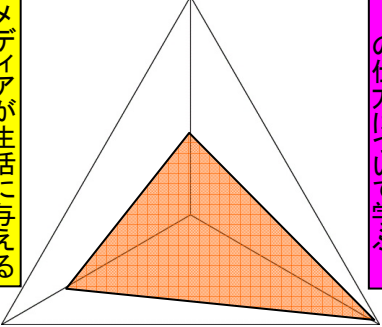


パッケージ名	どうすべきか？不適切サイトに出会ったら（中学校1～2年，1単位時間）	
実践のねらい	・様々なWebサイトがあり，有害な情報を発信する不適切なサイトに出会う可能性があることを知る。 ・発信者の意図を読み解きながら，不適切なサイトに出会ったときの対応の仕方を考える。	
実践のメディア活用シーナリオ	メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ 	実践の意図 ○想定する子どもの状況 ・例えば匿名で無責任な情報を書き込む電子掲示板，爆発物等の違法な情報，わいせつな情報等を含む不適切サイトへ，子どもが検索する間にたまたまたどり着く場合がある。 ・不適切サイトに出会ったとき，被害にあったりそのサイトへのめり込んだりしないような対応の仕方を，身に付けて欲しい。 ○パッケージの目標 ・有害情報を含む不適切サイトのトップページ(フィクション)数種類を見ながら，被害に遭わないための知識，のめり込まないための判断力を培う。 ○留意点 ・実際に起こった問題の事例を通してサイト制作者の意図を読み解きながら，対応の仕方を考えるようにする。

受 = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る
 送 = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

I. 不適切サイトに出会った経験を出し合う(5分)

○ **こんなページに出会ったことはありますか？**
 自分の経験や他から見聞きしたことなどを紹介し合う。

提示物: 不適切サイトトップページのイメージ

受 全員が「ない」と答えても，現実にはこのようなサイトがあり，偶然出会うこともあるという認識はもてるようにする。

II. 見たい人見たくない人，両方の気持ちを考える(15分)

○ **ここから先のページへ進む人・進まない人，両方の気持ちを考えましょう。**
 両方の立場から考え，それぞれの理由がワークシートへ書けるようにする。

WS: 進む人・進まない人の気持ち

受 自分は進まないと思っている子にも「じゃあなぜ進む人がいるのかな？」と投げかけ，立場を変えた考察を促す。
 考えついた両方の気持ちを紹介し合う。

III. 発信者の意図を読み解く(15分)

○ **このサイト制作者は，何を目的にしてこんな情報を発信しているんだろう？**
 まずは予想をしてみる。

配信資料: Webサイトで起こった問題の事例

受 事例を読み，金銭の不当請求・加害・犯罪等を行う発信者の意図とその巧みさに気づく。
 ※事例 アダルトサイトへののめり込み，ウイルス感染，誹謗中傷，爆発物等の取り扱い

受 誘惑に負ける受信者の心の弱さや，他者までトラブルに巻き込む問題の根深さにも気づく。

WS: 発信者の意図

IV. 不適切サイトに出会ったときの自分の対応を考える(15分)

○ **不適切サイトに，今度出会ったらどうしますか？**
 ワークシートへ「対処の仕方」「そうする理由」を書く。

WS: まとめ

発表後，以下の点をおさえながらまとめる。

受 先に進むと，どんなことが起こるかを想像し，不安があれば画面をとじる，または前画面へもどる。

受 新しいページを見たとき，「発信者の目的は何か」ということを，いつも考えるように心がける。

送 ウィルス感染して自身がウィルスメールを発信したり，匿名掲示板で不適切な書き込みを見慣れてついつい自分も書いてしまったりすると，他者にどれだけ迷惑を掛けるか考え，不適切サイトへアクセスしないように心がける。